


研究テーマ	政治・経済・社会の相関研究としての政策情報学 - 地図・ゲーム・文献を通じた学び -	
担当者名	淵元 哲	
ゼミの関連キーワード	政治経済学、経済社会学、主観地図、シリアスゲーム	
各研究の概要	<p>【ゼミナール1】</p> <p>本ゼミナールでは、担当教員の専門領域である「政治経済学」「経済社会学」そして「政策情報学」の学的領域での知見をもとに、コロナ禍以降の社会情勢を分析し、それを地図に表現する、もしくはシリアスゲームで表現するということをグループワークとして行う。またこれらの制作をするに際しては、上記の学問領域の知識を学んでおく必要があるため、ゼミ生は、指定された文献を読み、発表することを適宜求める。</p>	
	<p>【ゼミナール2】</p> <p>ゼミナール2では、ゼミナール1での知識や経験を発展させることを目指す。参加者各人の研究テーマを確定させ、自らが学んだ方法を適用し具体的な研究を進めていくことになる。教員が常々指摘している「連続の非連続」または「非連続の連続」という比較の視点を意識しつつ、現況分析を行ってもらい、かつ卒業研究のテーマの発表も行ってもらい。同時にゼミナール1のメンバーの学習を支援し、ゼミIのメンバーが行うグループ研究にもリーダー的立場で参画してもらいことになる。</p>	
	<p>【卒業研究】</p> <p>卒業研究では、いままでの知見をもとに卒業論文の執筆、卒業制作の作業を進める。暫定的に選択したテーマが卒業論文・制作で扱えるものであるのかも含めて、適切であるかどうかを教員とのディスカッションを通じて、テーマを確定させていく。また同時に自身が選んだ卒業研究のテーマに必要な文献、論文などについても、指導していく。参加者には、執筆の段階ごとに、卒業論文・卒業制作の経過について報告してもらう。</p>	
過去の卒業論文の題目例	<p>卒業論文「住宅用火災警報器設置率の一考察」</p> <p>卒業論文「高速道路の渋滞学」</p> <p>卒業制作「シミュレーションゲームで学ぶ漁業：資源保護と密漁・密輸問題について」</p> <p>卒業制作「ポイステップ：シリアスゲームで学ぶ『ポイ捨て』問題」</p>	
履修上の注意	<p>担当教員がゼミ生に要求することは、以下のことからである。①読書をするを厭わない、②自主的に企画を提案する（教員の指示をただ待つのではなく、むしろ教員に提案する）、③無断欠席をせず、チームで行動することを嫌わない、ということである。</p>	
関連する課外活動	<p>担当教員は「地域政策研究会」の顧問教員でもあるので、ゼミ生には会員として活動することを強く望む。</p>	